

平成30年度

決算説明資料

中頓別町

目次

議会費	2
総務費	3
民生費	14
衛生費	21
労働費	24
農林水産業費	25
商工費	32
土木費	35
消防費	38
教育費	40
特別会計	47

※事業名右側()内の数字は予算現額

議会費

〈議会費〉

(担当：議会事務局)

議会事務事業

決算額 41,240千円(41,665千円)

この経費は、主として議員の報酬、定例会や臨時会、各委員会等の会議出席に伴う費用弁償に使われる他、町議会の活動状況を広く町民に周知し、議会に対する理解と認識を深めてもらうための議会広報発行費用、議事録作成にかかる会議録調製委託料、事務局職員の人件費などに充てられました。

■議員に関する経費

- 議員の報酬、議員共済負担金・事務費 23,001千円
- 定例会や臨時会、各委員会、研修や視察などの費用弁償 661千円
- 議員公務災害補償組合負担金 55千円
- 道議長会70周年記念式典負担金 8千円

■職員に関する経費

- 事務局職員の給料、各種手当、共済組合負担金 15,556千円
- 事務局職員の普通旅費として 232千円
- 道議長会70周年記念式典負担金 8千円

■事務的経費

- 議会だより印刷費 741千円
- 議会だより配付料 5千円
- 車両燃料費、高速料金 48千円
- 法令集追録代や議会関連雑誌定期購読代、消耗品代 244千円
- 会議録調製委託料 608千円

■その他の経費

- 議長交際費 73千円

【参考】

○宗谷管内町村議会議員年収比較

(平成30年7月1日現在)

町村名	順位	議長 (円)	順位	副議長 (円)	順位	委員長 (円)	順位	議員 (円)
中頓別町	⑨	2,520,000	⑨	2,280,000	⑨	2,220,000	⑨	2,112,000
管内平均		3,606,967		2,982,311		2,834,244		2,680,844

(順位は、宗谷管内8町1村中の順位)

総務費

〈一般管理費〉

(担当：総務課総務グループ)

儀式典礼事業 **決算額 155千円(157千円)**

自治記念式、檜原民之助氏慰霊祭等の儀式に要した経費です。

自治記念式は毎年4月1日に開催し、中頓別町の自治の発展に寄与された方々6名を表彰して記念品を贈呈しました。

行政改革事務事業 **決算額 13千円(32千円)**

平成17年度に策定した中長期行財政運営計画に基づき、適切に行財政改革を推進していくため、行政改革推進委員会がその進捗状況を監視し必要な提言を行っています。

自衛隊募集事務事業 **決算額 27千円(27千円)**

自衛隊員募集・確保のため自衛隊募集推進協議会と連携して円滑な活動を図りました。

人事管理事務事業 **決算額 412,070千円(415,385千円)**

特別職、一般職及び臨時職員の給料支払いの他、共済事務や健康診断などの福利厚生事務、職員の研修や進退に関する事務など組織の内部管理事務のために要した経費です。

町村会事務事業 **決算額 2,850千円(2,855千円)**

宗谷町村会は、宗谷管内のすべての町村で組織し町村に共通する課題の解決や情報の収集と提供、職員研修の共同実施などの事業を行っています。その運営に必要な経費は、町村の規模等で決められています。毎年、経費の節減を図り、積立金の取崩しをしながら負担金を削減しています。

※30年度負担金 2,850千円

文書管理事務事業 **決算額 959千円(960千円)**

適切な公文書管理と情報公開へ対応するために必要な統合文書管理システムの保守経費を支出しました。

法制事務事業 **決算額 2,901千円(2,902千円)**

平成17年度から例規集の冊子を廃止し、Web版例規集のみとしています。

平成24年度から新システムの導入により例規の制定改廃事務の効率化と経費の削減を図りました。

例規の改正等によるデータの更新費用とシステムの利用料等として支出しました。

総務関連事務事業 **決算額 7,952千円(8,545千円)**

上記の事業の他、総務の一般的な事務を行うために必要な経費を支出しました。

職員研修事業 **決算額 4,806千円(4,958千円)**

職員の意識革命、資質向上を図り、より高度な行政課題への対応、さらなる住民サービスの向上に資するため、各種研修機関への派遣及び独自研修等を実施しました。

中頓別町奨学金等償還支援事業 **決算額 8,364千円(8,366千円)**

町内事業所等に就業中或いは就業予定があり、町内に住所があるか定住をする見込みがある者で、奨学金等の償還中或いは償還を予定する者に対する助成、また、国家資格等取得者

に対して奨学金等の一括償還相当額の貸付事業です。

◇奨学金償還支援 4件（ 722千円）

◇一括償還貸付 2件（7,642千円）

〈財政管理費〉

（担当：総務課政策経営室）

財政管理事業 **決算額 107千円（125千円）**

財政関連旅費とそれに係る燃料費及び公金振替・自動振替取扱手数料に係る経費を支出しました。

物品管理事業 **決算額 4,524千円（4,616千円）**

職員が業務上必要な事務用品やコピー機・印刷機の保守に係る経費などを支出しました。

財務会計等システム管理事業 **決算額 2,773千円（2,839千円）**

会計処理や財務情報の管理を行うための財務会計システムの保守に係る経費を支出しました。

〈文書広報費〉

（担当：総務課政策経営室）

広報公聴事業 **決算額 2,565千円（2,681千円）**

町民の暮らしに密着した情報や町の魅力を発信するための経費です。

・ 広報誌なかとんべつの発行

町が抱える様々な問題や課題、町で起きている出来事などをタイムリーにお知らせしました。

町民の情報に関するニーズをしっかりと捕捉し、特集などを中心に紙面の見直しを進めながら内容の充実を図りました。

・ 広報なかとんべつ お知らせ版の発行

健康相談の日程や様々な行政の情報をお知らせ版として月2回を発行し、町民への情報提供と周知を図りました。

・ 街頭放送の実施

町のお知らせや緊急放送など町内（市街地のみ）への周知手段として町内の街頭放送を運営する中頓別町街頭放送協会に加盟し、その放送網を利用しました。

・ 町政懇談会「町長がおじゃまします」の実施

今年度は、町内の希望団体、希望自治会を対象とし、地域交通と高齢者福祉について地域住民への説明会を兼ねて行いました。

〈財産管理費〉

（担当：建設課建設グループ）

町有財産維持管理事業 **決算額 10,593千円（10,863千円）**

庁舎以外の町有財産に係る損害保険料や建物等の維持管理に関する経費を支出しました。

・ 哺育・育成センター建設等用地購入費	533千円
・ 財務省所管(寿公園敷地他7用地)土地購入費	149千円
・ まちづくり活動支援センター外壁修繕費	637千円

役場庁舎維持管理事業 決算額 7,065千円(7,351千円)

庁舎の電気料や、電話料など建物の維持管理に関する経費を支出しました。

・ 職員用イス等購入費	791千円
・ 芝刈機購入費	164千円
・ 役場庁舎テレビ購入費	164千円

建設設計業務支援事業 決算額 5,195千円(5,400千円)

町有建物等の施設整備及び維持保全に係る技術支援業務に関する経費を支出しました。

・ 維持保全工事等支援業務委託料	5,195千円
------------------	---------

〈企画費〉

(担当：総務課政策経営室)

いきいきふるさと推進事業 決算額 6,969千円(7,922千円)

町内に転入された方には、中頓別で生活する上での必要な情報の提供を行います。

また、結婚や子育てに対しては祝金等の贈呈や支援を行い、地域が温かい気持ちで支えあうまちづくりを目指します。

・ 転入支援事業	中頓別町生活情報誌の配布	69千円
	なかとん牛乳引換券の配布	49千円
	就職祝金	100千円
・ 就学支援事業	通学用バス定期運賃補助事業	2,555千円
	高等学校等通学家庭補助事業	800千円
・ 結婚支援事業	結婚祝金(夫婦1組300,000円)	1,500千円
・ 子育て支援事業	出生祝金	1,700千円
	・ 第1子～第2子 10万円(内5万円分商工会発行商品券)	
	・ 第3子以降 30万円(内5万円分商工会発行商品券)	
	絵本プレゼント(1歳児、1歳6ヶ月児、3歳児を 対象に1人2冊を乳幼児健診時に手渡し)	78千円
	紙オムツ、紙オムツ用ごみ袋	118千円

移住定住促進事業 決算額 1,414千円(1,497千円)

平成18年度から北海道移住促進協議会に参画し、移住・定住を促進するための事業に取り組んできています。

現在は、4棟のおためし暮らし用住宅を用意して受入を行っており、平成30年度は6組13名の方々のご利用がありました。この取り組みを通じて二地域居住や移住へと繋げていけるよう今後もこれを継続していきます。

また、首都圏等におけるPR事業として、東京、大阪で開催された北海道暮らしフェア等に参加したほか、町単独での移住フェアを東京で開催しました。

・北海道移住定住促進協議会会費	50千円
・北海道暮らしフェア等参加旅費	509千円
・中頓別町移住フェア開催旅費	672千円
・おためし暮らし住宅用備品購入	118千円
・おためし暮らし住宅修繕、維持管理費	65千円

移住体験事業実績

	おためし暮らし	二地域居住	完全移住
～H26	61組 127人 延2,762日	4組 12人	5組 9人
H27	4組 8人 延499日	—	—
H28	8組 13人 延441日	—	1組 1人
H29	11組 21人 延542日	—	—
H30	6組 13人 延375日	—	—
計	90組 182人 延4,619日	4組 12人	6組 10人

環境保全活動推進事業

決算額 0千円(0千円)

環境の保全と創造を町民が自主的・主体的に進めていくため、条例・計画に基づいた推進に努め、環境保全に関する事項について諮問するため、環境基本法の定めに基づき町環境審議会を推進します。

平成30年度は実績がありませんでした。

企画総務事業

決算額 5,050千円(5,706千円)

上記の事業の他、総務課政策経営室の一般的な事務を行うために必要な経費です。

・臨時職員賃金	2,125千円
・人財塾講師報償費	1,600千円
・職員旅費等	638千円
・消耗品費等	412千円
・高速道路使用料、講師宿泊費	39千円
・車両維持管理費	184千円
・負担金	52千円

宗谷本線活性化推進協議会 20千円

農村文明創生日本塾 30千円

全国積雪寒冷地帯振興協議会 2千円

全国過疎地域自立促進連盟事業

決算額 77千円(78千円)

過疎地域における産業、経済の開発振興と地域住民の生活、文化の安定向上を図る、全国過疎地域自立促進連盟と連携し、過疎地域対策の充実強化を図っています。

総合開発委員会事業

決算額 80千円(80千円)

平成24年度からスタートした第7期総合計画に基づき、豊かで住みよいまちづくり、誰もが住んでよかった、いつまでも住み続けることのできるまちづくりを実現するため、計画の推進管理を重点的に行いました。

・委員会の開催	本委員会 1回	外部評価委員会 4回	80千円
---------	---------	------------	------

地方バス路線維持対策事業 決算額 15,857千円(15,857千円)

平成元年度にJR天北線が廃止され、代替バスの運行が開始し、これまで関連市町村で連携を取り、対策協議会により様々な対策を検討してきました。

平成30年度においても、バス路線を維持するために必要な補助を行いました。

- ・地域間幹線系統確保維持分 3,860千円
- ・地域間幹線系統確保維持分(買支え) 10,305千円
- ・市町村単独路線維持分 1,692千円

天北線バス定期運賃補助事業 決算額 0千円(0千円)

いきいきふるさと推進事業に統合したため、実績がありませんでした。

土地利用等規制対策事業 決算額 45千円(45千円)

国土利用計画法に基づく規制、誘導や土地取引の届出事務に要する経費です。

地域づくり活動支援補助事業 決算額 200千円(300千円)

町民による地域特性や地域資源を活かした地域づくりを推進する活動に対して補助金を交付することにより、地域振興と町民福祉の向上を図ることを目的としています。

中頓別町まちづくり協議会 200千円

定住自立圏事業 決算額 8千円(41千円)

中心市宣言(定住自立圏構想推進要綱第4に規定)を行った「稚内市」「名寄市及び士別市」と相互に役割を分担し連携しながら、定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し、安心して暮らせる定住自立圏を形成することを目的に取り組んでいます。

- ・諸会議等出席のための旅費 8千円

新エネルギー導入事業 決算額 5,928千円(5,931千円)

本町が抱える家畜糞尿処理の課題を解決するためにバイオガスプラント導入の調査設計を行いました。酪農家より、家畜糞尿処理の現状と事業への参加意思の確認を行い、原料確保に関する詳細なヒアリングを行うほか、いくつかのモデルケースを検討し、基本設計を行いました。

- ・アドバイザー報償費 90千円
- ・職員旅費等 56千円
- ・燃料代等 4千円
- ・委託料 5,778千円

大崎上島町交流推進事業 決算額 868千円(977千円)

平成2年10月に本町の開拓の始祖である樽原民之助氏の出身地である広島県東野町(現大崎上島町)と姉妹町の縁を結び、町民同士の交流を行っております。

平成30年度は隔年で実施している交流団の派遣・受入事業を実施するため、実行委員会に対し経費の一部を補助しました。

まちづくり団体支援事業 決算額 349千円(795千円)

地域の振興や発展に向けたまちづくり活動を行う団体に対して支援を行いました。

- ・中頓別町まちおこしイベント協会負担金 30千円
- ・北海道日本ハムファイターズ中頓別後援会助成金 319千円

人口減少問題対策事業

決算額 63千円(106千円)

急速に進む人口減少を少しでも抑制するため、様々な施策を講じながら地域課題の解決に向けた取り組みを推進しています。

平成29年度より第7期総合計画が後期に移行しており、中頓別町総合戦略の着実な実施に向け、進捗状況の確認と効果検証を行っています。

- ・総合戦略推進委員会委員報酬等 63千円

地域青年交流の場設定事業

決算額 3,767千円(4,200千円)

地域の青年同士の交流機会を創出すべく、なかとんべつ青年交流事業実行委員会が主体となって異業種間交流を進めてきました。平成30年度は2回目となる婚活事業を実施。前年度に引き続き実行委員会での活動を婚活事業と、関連した研修会が3回行われました。

婚活事業は当初9月に実施することで準備をしていましたが、開催直前に発生した胆振東部地震による被害予防のため、開催を中止しましたが、実施日を再考して1月に実施しました。全国から応募のあった女性参加者は4名来町し、1組のカップルが成立しました。

- ・なかとんべつ青年交流事業実行委員会補助金 3,377千円
- ・婚活事前講習講師謝金 110千円
- ・婚活事前講習講師旅費 280千円

ふるさと応援寄附事業

決算額 345千円(345千円)

中頓別町を応援していただける個人や団体から広く寄附金を募り、これを財源に環境保全や子どもの健全育成などの各種事業に活かしています。

平成30年度は28件、1,865千円の寄付金をいただき、うち27件の方々へ地域の特産品を返礼品として贈りました。

- ・ふるさと応援寄附返礼 308千円
- ・サイト利用料 37千円

全社会資源参加シェアコミュニティ構築事業

決算額 20,446千円(21,919千円)

地域の限られた人的・社会的資源を有効に活用していくために、これらをシェアリング(共有)する仕組みを構築することで人口減少社会に対応した地域づくりを進めていきます。

今年度は平成28年度から進めているライドシェア実証実験のほか、民泊や空きスペースの活用に関する取組みについて推進していくため、勉強会や先進的に実施されている地域への調査も行いました。

- ・臨時職員賃金 2,628千円
- ・協議会委員費用弁償 474千円
- ・職員旅費 478千円
- ・ライドシェア実施、民泊視察経費 720千円
- ・全社会資源参加シェアコミュニティ実践事業業務委託料 16,146千円

企業誘致促進事業 **決算額 130,000千円(230,000千円)**

※うち、130,000千円は、平成29年度からの繰越明許費です。

※うち、100,000千円は、平成31年度への繰越明許費です。

町内における企業の立地や地場産業の振興を促進するため、町内に工場等を新設又は増設する企業に支援するもので、平成29年度からの繰越事業として、町内で採れる貝化石を活用して製品化を行う工場が上駒地区で新設、操業が開始したことに伴い株式会社KUWAHARAに対し、補助制度の上限額となる1億円の支援と町の支援制度に併せて国の交付金を活用したことで合計1億3千万円の補助を行いました。

なお、31年度当初には松音知地区で、生乳生産に特化した大規模搾乳施設の整備が完了する見通しとなっており、株式会社デイリースウル中頓別に補助制度の上限額である1億円を支援する予定となっています。

広域連携事業 **決算額 539千円(539千円)**

東京都港区と宗谷町村会との連携事業を実施しており、みなと区民まつりへの出店やPRイベント等を実施することで、宗谷地域のブランド力向上を図ります。

・職員旅費	446千円
・消耗品費	55千円
・送料	38千円

地域産業創出による雇用創出促進事業 **決算額 872千円(978千円)**

地域の資源を活用した新分野の創出を行い、農業や観光振興との効果的な連携による雇用促進や起業化を推進してきました。

平成30年度には貝化石を活用して製品化を行う新たな企業が操業を開始。これに伴う事業所の紹介や新規雇用の創出を図るため、首都圏においてPR活動を実施しました。

地上デジタル放送施設整備事業 **決算額 12千円(12千円)**

地上デジタル放送無線共聴施設における無線免許の更新を行いました。

・印紙代	12千円
------	------

〈公平委員会費〉

(担当：総務課総務グループ)

公平委員会事務事業 **決算額 3千円(6千円)**

この経費は、宗谷公平委員会負担金に充てられました。

〈生活安全推進費〉

(担当：総務課住民グループ)

生活安全推進事業 **決算額 1,084千円(1,247千円)**

生活安全事業 **621千円**

平成30年6月20日に交通事故死ゼロ1,500日を達成しましたが、平成30年7月29日に死亡事故が発生したため町民決起大会を開催しました。関係団体との連携強化の他、町民の交通安全意識の高揚を図るため、街頭啓発や安全旗の設置など、多くの活動

を行いました。また、高齢者世帯や児童を不審者等から守る活動等が重要であることから、警察、ボランティア団体などと連携し、見守り活動などに取り組みました。

- ・道交通安全推進委員会負担金 30千円
- ・啓発資材、消耗品、燃料代、安全車車検代、旅費、賃金等 591千円

交通指導員事業 295千円

交通安全対策を推進するため、交通指導員を委嘱して活動を実施しました。主に、町内行事の際に、町内の安全確保のため、交通整理を行っている他、交通安全運動週間における啓発活動に取り組みました。

- ・交通指導員の報酬及び費用弁償 295千円

地域生活安全協会補助事業 168千円

地域住民の生活を守る活動の充実を図るため地域生活安全協会に対し、その運営費の一部を補助しました。

自治会連合会運営補助事業 決算額 3,664千円(3,664千円)

自治会の育成指導、相互の連絡調整を図り、住民福祉の増進並びに地域振興発展に寄与することを目的とする自治会連合会に対し補助金を交付しました。また、各種行事を通じて世代間の交流を深めコミュニティの活性化を図るとともに、地域の結束を高めるため用具（テント・イス・テーブル）を購入しました。

- ・各自治会に配分 1,254千円
- ・コミュニティ助成事業（備品購入） 2,410千円

町内対抗スポーツ大会補助事業 決算額 475千円(475千円)

北緯45度夏まつりにあわせて地域住民が楽しめる競技として町内対抗スポーツ大会を実施しており、大会実行委員会に対して、その運営費を補助しました。

消費者行政活性化事業 決算額 136千円(177千円)

消費生活相談窓口の機能強化と消費生活相談員等の資質向上を図るとともに、被害予防に関する普及啓発に努め、相談があった際には稚内消費者センターと連携し、問題の解決に努めました。

- ・稚内消費者センター負担金 135千円
- ・諸会議等出席のための旅費 1千円

〈防災会議費〉

(担当：総務課総務グループ)

防災対策事業 決算額 9,014千円(9,058千円)

町民の生命と財産を守るため防災会議を開催するとともに、防災訓練・防災備品の整備など日頃から安全な地域社会を確保するために必要な経費を支出しました。

〈バス転換関連施設維持管理費〉

(担当：建設課建設グループ)

天北線バス関連施設維持補修事業 決算額 3,174千円(3,376千円)

バス路線の円滑な運行やバス利用の促進を図るため、バスターミナル等の維持管理にかかる経費を支出しました。

〈情報推進費〉

(担当：総務課総務グループ)

中頓別町電子自治体推進事業 決算額 13,984千円(14,591千円)

国が進める電子政府・電子自治体に対応し、平成16年度から本町も地域情報化、要請情報化を整備し、合理的かつ効果的な行政事務の改善とサービスの向上を図ってきました。

これら電子自治体等の機器、システムの保守や維持に必要な経費を支出しました。

〈税務総務費〉

(担当：総務課住民グループ)

町民税事業 決算額 738千円(773千円)

個人住民税の賦課業務に要した経費です。

固定資産税事業 決算額 1,359千円(1,378千円)

土地・家屋・償却資産の賦課業務に要した経費です。

軽自動車税事業 決算額 194千円(195千円)

軽自動車税の賦課業務に要した経費です。

法人税事業 決算額 8千円(257千円)

法人税の賦課業務に要した経費です。

納税管理事業 決算額 621千円(703千円)

徴収簿収納管理、滞納税額の管理及び個別徴収に要した経費です。

税務庶務事業 決算額 364千円(381千円)

予算管理、条例整備、文書管理等及び各種庶務事務に要した経費です。

所得税確定申告関係事業 決算額 1,074千円(1,114千円)

所得税の確定申告書の作成支援及び税務相談を受けることによって、相談者への利便性を図りました。

〈戸籍住民基本台帳費〉

(担当：総務課住民グループ)

戸籍事務事業 決算額 181千円(211千円)

戸籍法に基づき、戸籍・除籍・改製原戸籍の管理及び発行や住民に関する事務処理に要した経費です。

住民事務事業 決算額 9,392千円(9,685千円)

住民基本台帳法等に基づき、町民の居住環境の公証、選挙人名簿の登録その他住民に関する

る登録、証明事務に関する事務処理の基礎となるもので、住民に関する記録を正確かつ統一
的に行うシステムの保守管理業務を委託しています。

社会保障・税番号制度が始まり、個人番号カードの交付のためのシステム利用及び情報連
携のための機器整備事業を委託しています。

住民基本台帳ネットワーク機器保守等	388千円
総合行政システム利用経費等	1,672千円
統合宛名システム利用経費等	972千円
庁内ネットワークシステム（基幹系）保守等	2,111千円
社会保障・税番号制度システム整備業務委託等	1,847千円
社会保障・税番号制度に係る関連経費	2,158千円
その他旅券申請交付事務負担金等	20千円
その他事務費等	224千円

〈戸籍共同運用費〉

（担当：総務課住民グループ）

戸籍共同運用事業 **決算額 2,652千円（2,652千円）**

戸籍システムについて、平成29年2月より宗谷5町村（豊富町、浜頓別町、猿払村、幌
延町、中頓別町）で共同運用しています。

共同利用のサーバ・システムの管理はクラウド化され業者に委託しているが、浜頓別町が
代表町となり事務委託し、運用経費を浜頓別町に負担金として支出しました。

〈選挙管理委員会費〉

（担当：選挙管理委員会事務局）

選挙管理委員会事業 **決算額 737千円（797千円）**

この経費は、主に選挙管理委員（4人）の報酬、費用弁償など選挙管理委員会を運営する
経費として支出しました。

〈選挙啓発費〉

（担当：選挙管理委員会事務局）

選挙啓発事業 **決算額 6千円（8千円）**

新たに選挙権を得た新成人などに選挙の大切さを理解してもらうため、パンフレットを配
布しました。

〈在外選挙費〉

（担当：選挙管理委員会事務局）

在外選挙事業 **決算額 0千円（2千円）**

国外に居住する在外選挙人の名簿登録事務に係る郵便料については請求がなかったことか
ら未執行になりました。

〈知事・道議会議員選挙費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

知事・道議会議員選挙事業 決算額 1,827千円(1,827千円)

平成31年4月7日執行の北海道知事・北海道議会議員選挙に係る経費(平成30年度分)を支出しました。

〈統計調査費〉

(担当：総務課政策経営室)

統計調査業務事業 決算額 153千円(159千円)

- ・学校基本調査 8千円
文部科学省が毎年行う幼稚園から高校までの生徒数等の実態を把握する調査です。
5月1日を基準として、本年度も調査を行いました。
- ・工業統計調査 23千円
経済産業省が毎年行う工業(製造業)の実態を把握する調査です。
7月1日を基準として、本年度も調査を行いました。
- ・経済センサスー調査区管理 4千円
経済センサス活動調査を円滑に行うための基礎調査内容の修正等の事務に要した経費です。
- ・住宅土地統計調査 86千円
多様化している居住状況や少子高齢化等の社会状況・経済状況の変化などを踏まえた住環境対策を行なうことを目的として、住生活の実態を把握するために5年毎に実施される調査です。
本年度は本調査が実施される年であったため、10月1日を基準として行いました。
- ・経済センサスー基礎調査準備経費 21千円
経済センサス基礎調査は、すべての事業所や企業の経済活動状態等を把握するために5年毎に実施される調査です。
調査概要や各種事務などの説明が行なわれる市町村事務打合せ会への出席や調査用品の購入など、平成31年度に実施される本調査に向けた準備を行いました。
- ・国勢統計実務検討会経費 3千円
国勢調査は、国内の人口や世帯の実態を把握するために5年毎に実施される調査です。
実施計画や調査区設定事務などの説明が行なわれる市町村説明会へ出席し、令和2年度に実施される本調査に向けた準備を行いました。
- ・農林業センサス事前準備経費 8千円
農林業センサスは、農林業の生産構造・就業構造や農山村地域における土地資源などの実態を把握するために5年毎に実施される調査です。
調査用品を購入し、平成31年度に実施される本調査に向けた事前準備を行いました。

〈監査委員費〉

(担当：監査委員書記)

監査委員事務事業

決算額 901千円(911千円)

この経費は、監査委員2名の報酬や監査業務に伴う費用弁償などに充てられました。

民生費

〈社会福祉総務費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

社会福祉協議会運営補助事業

決算額 6,503千円(6,503千円)

社会福祉協議会の運営に係る経費の一部を助成します。主に社会福祉協議会の職員2名の人件費です。

冬期生活支援事業

決算額 0千円(1,000千円)

冬期間の積雪による安全を確保するため、65歳以上の単身世帯又は高齢者世帯、障がい者世帯に対しベランダ・屋根等の除雪等の経費の一部を助成する予定でしたが、実績がありませんでした。

地域支え合い見守り活動推進事業

決算額 0千円(389千円)

社会福祉事業に要する要援護者システム運用のためのデータ更新に係る経費でしたが、昨年度システム更新をしたために今年度に係る経費が不用となりました。

権利擁護事業

決算額 1,700千円(1,700千円)

「なかとんべつサポートセンター」を社会福祉協議会に委託し、地域福祉の充実を図りました。

社会福祉総務事業

決算額 4,470千円(4,885千円)

各種委員会の報酬やその他社会福祉事業に要する経費を支出しました。

戦没者慰霊祭開催事業

決算額 63千円(65千円)

戦争によって亡くなった中頓別町の戦没者に対し、追悼の意を表し恒久平和への誓いを新たにするため、6月22日に開催し、遺族2名、来賓20名の参列者で行われました。

民生委員協議会運営補助事業

決算額 1,621千円(1,937千円)

民生委員・児童委員で構成する中頓別町民生委員協議会に対し、その運営費の一部を補助しました。

協議会は、各民生委員の担当地区における生活状態の把握、高齢者等の安否確認、保護の指導、社会福祉事業施設や関係行政機関との連携等の任務の遂行と円滑な運営を図ることを目的としています。

地域自殺対策事業 **決算額 6,223千円(6,544千円)**

誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して、専門家による相談事業及びこころの健康に係る教育事業として、講演会及び啓発等を実施しました。また、町が取り組むべき課題や自殺対策施策の基本的方向、実施施策や目的を定めるために、自殺対策行動計画を策定しました。

社会福祉法人資格養成助成事業 **決算額 3,392千円(4,350千円)**

社会福祉法人が実施する「社会福祉事業を行なうための職員養成」に要する経費の一部を助成しました。(長寿園職員6名、厚生園職員3名、計9名)

〈老人福祉費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

敬老会開催事業 **決算額 447千円(580千円)**

75歳以上の高齢者を対象に9月14日に町民センターで、出席者102名、来賓16名の出席により敬老会を開催しました。

喜寿を迎える方に、記念写真及び記念品を贈呈しました。

高齢者事業団運営補助事業 **決算額 500千円(500千円)**

高齢者事業団の運営に係る高齢者事業団開拓員活動事業に対し助成しました。

高齢者乗合自動車無料乗車券交付事業 **決算額 240千円(240千円)**

町内の75歳以上の高齢者に対し、町内のバス路線区間に限り無料で乗車することができる乗車券を平成30年度末中新たに7名に交付しています。

この事業は、宗谷バスに委託して実施しています。

高齢者等スポーツレクリエーション大会開催事業 **決算額 59千円(66千円)**

町内に居住する65歳以上のお年寄りや身体障害者及び知的障害者の福祉活動の一環として、8月1日に開催し、軽スポーツ活動を通し、健康増進と融和・親睦を深めました。

在宅老人デイサービスセンター等運営事業 **決算額 23,203千円(23,987千円)**

在宅老人デイサービスセンターは、在宅の要援護老人等に対し、通所の方法により各種サービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図っています。

この事業は、社会福祉法人南宗谷福祉会に委託しました。

除雪サービス事業 **決算額 1,350千円(1,350千円)**

一人暮らしのお年寄りや、お年寄りだけの世帯で、積雪による外出の不安や、冬期間の生活環境支援のために、除雪に係る労力を確保できないと認める世帯に対して、積雪時に玄関前など住宅周辺の除雪を行いました。

この事業は、社会福祉協議会に委託して実施されています。

中頓別町ピンネシリ温泉入館料助成事業 決算額 964千円(1,474千円)

町内に住んでいる70歳以上のお年寄りや障がい者などの憩いの場の提供と心身の健康増進のために、ピンネシリ温泉と黄金湯(平成30年5月～)の入浴券を172名に交付しました。利用者は延4,381名でした。

訪問介護サービスセンター運営事業

決算額 10,629千円(10,629千円)

在宅者の要介護老人及び障害者等に対して、ホームヘルパーを派遣する事業として、訪問介護サービスセンターの運営を社会福祉法人南宗谷福祉会に委託した経費です。

老人クラブ連合会運営補助事業 決算額 319千円(319千円)

老人クラブ連合会の運営に係る経費の一部を助成しました。

養護老人ホーム入所事業 決算額 117,765千円(123,116千円)

町内外の老人ホームに入所している方の入所費用を支出しています。入所者本人と扶養義務者は所得に応じた費用負担があります。

8月1日現在の入所者数は、町内施設(長寿園)に51名です。

老人福祉事業 決算額 23,493千円(42,415千円)

後期高齢者医療広域連合療養給付費市町村負担金などを計上しました。

療養給付費市町村負担金については、被保険者数及び給付費見込みを市町村ごとに算出しています。

後期高齢者見舞金助成事業 決算額 4,736千円(4,999千円)

後期高齢者に対し医療に要する経費の一部を助成することにより、医療費の負担を軽減し、地域で安心して生活できるよう、後期高齢者の福祉の増進を図ります。

見舞金の額は、医療機関等に支払った医療費等のうち月額2千円以内を助成するものです。

平成30年度は、242名に助成しました。

病院患者送迎サービス事業 決算額 1,417千円(1,602千円)

高齢者や通院が困難な方を、市街地を除く町内全地域を対象に週3回行っている病院患者送迎サービスの諸経費を計上しました。

平成30年度の利用者は239名でした。

居宅介護支援事業所運営費助成事業 決算額 2,272千円(2,272千円)

高齢者福祉の促進のため、居宅介護支援事業所に運営費の一部を助成しました。

特別養護老人ホーム施設整備助成事業

決算額 236,810千円(236,810千円)

老朽化した特別養護老人ホームの増改修事業を支援するための経費を助成しました。

〈国民年金費〉

(担当：総務課住民グループ)

国民年金事務事業 決算額 292千円(296千円)

法令に基づき、市町村が行わなければならない照会業務等に要した経費です。

〈障害者福祉費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

障害者医療費給付事業 **決算額 902千円(1,408千円)**

身体に障がいがある方の身体的負担（人工透析や人工関節等）を軽減したりすることで、日常生活が容易になるよう行われる医学的処置、薬剤、治療、材料などの給付を行う医療費の一部を助成しました。

平成30年度は、入院76件（内臓障害）、入院外325件（内臓障害）に助成しました。

障害者総合支援給付事業 **決算額 153,895千円(155,331千円)**

障害者自立支援法の施行に伴い、障がいの日常活動、居住系サービス、児童デイサービスといった障がい福祉サービス費の負担です。

現在、サービスを利用している方々は、生活介護14名、施設入所11名、共同生活介護（グループホーム）11名、就労継続支援（B型）7名、短期入所1名、児童デイ1名となっています。

また、身体の障がいある方の自立した日常生活を過ごすために補う補装具1件（補聴器）の交付を行いました。

障害者福祉事業 **決算額 30千円(31千円)**

障がい者福祉事業に要する事務費等諸経費の支出を行いました。

地域生活支援事業 **決算額 9,396千円(11,013千円)**

障がい者（児）が、安心して暮らすことのできる地域社会の実現、自立した日常生活又は社会生活を営むことができることを目的として日常生活用具19件の給付、障がい者等を雇用している3事業者（5事業場：対象就労者数13人）に助成金を交付しました。

〈災害救助費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

災害救助事業 **決算額 0千円(0千円)**

実績がありませんでした。

〈重度心身障害者特別対策費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

重度心身障害者医療給付事業 **決算額 6,733千円(7,009千円)**

心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫若しくは肝臓の機能障がいである1級から3級の障がいに該当している方などの医療費の一部を助成しました。

〈地域福祉対策事業費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

緊急通報システム事業 **決算額 924千円(970千円)**

ひとり暮らしのお年寄りや身体の不自由な方などの、増え続ける独居世帯者の安心を確保するために、緊急通報システム端末の貸与を行いました。

平成30年度末現在、安全センター10戸、健康づくり財団2戸の設置となっています。

福祉ハイヤー助成事業 決算額 2,754千円(3,553千円)

重度肢体不自由者等、70歳以上の高齢者（一部制限があります）の通院などが容易になるように、タクシーチケット（1枚520円）を支給します。交付枚数は、重度肢体不自由者等には年間48枚、高齢者には48枚交付しました。

自家用車を所有している方の配偶者（70歳以上）は年間24枚交付しました。

年度途中での交付該当者は、年間交付枚数を月割で交付しています。

〈介護福祉センター費〉

（担当：保健福祉課保健福祉グループ）

介護福祉センター管理事業 決算額 14,447千円(14,591千円)

介護福祉センター及び保健センターの光熱水費など、施設の維持管理に係る経費です。

〈次世代育成支援対策費〉

（担当：認定こども園）

次世代育成支援対策事業 決算額 479千円(511千円)

未来を担う子ども達のために、地域に開かれた認定こども園として積極的に老人福祉施設や、お年寄りとの世代間交流を取り入れることで、豊かな人間性を身につけることを目的として世代間交流を行ってきました。また、町内の子ども達の健やかな成長ぶりを見守り、小学校・中学校・高校生（町内在住の高校生）との交流をもつことによって、社会性や協調性を養うことを目的として異年齢児交流会を行いました。

事業名	交流区分	内 容	参加人数
保育所地域活動事業 (世代間交流) (異年齢児交流)	世/異	こども園花壇づくり	17名
	世/異	運動会	150名
	世/異	盆祭り	141名
	世/異	しめ縄講習会	61名
	世/異	人形劇観劇	67名
	世	敬老会参加	8名(こども園)
	世	長寿園まつり参加	15名(こども園)
	異	畑づくり	19名
	異	夏休みボランティア体験	39名
	異	健康支援体操	69名
	異	もりんこあそび	54名
	異	マジックショー	90名
	異	放課後交流	随時開放

〈介護予防費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

介護予防事業

決算額 600千円(600千円)

介護保険法に基づく、介護予防支援サービス（予防ケアプランの作成、サービス事業者との連絡調整等）を行うための経費を支出しました。

〈子ども医療費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

子ども医療給付事業

決算額 4,384千円(5,214千円)

満18歳までの子ども達に対し医療費の無料化を図り、疾病の早期診断と早期治療を促進し、子ども達の保健の向上と福祉の増進、子育て世代家庭の経済的負担の軽減を図っています。

〈児童措置費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

児童手当支給事業

決算額 15,680千円(15,695千円)

児童を養育している方に手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、以下基本額（月額）を年3回支給しました。

- ・ 3歳未満 15,000円
- ・ 3歳から小学校終了前の第2子まで 10,000円
- ・ 3歳から小学校終了前の第3子以降 15,000円
- ・ 中学校終了前 10,000円
- ・ 特例給付 5,000円

障がい児生活支援事業

決算額 286千円(431千円)

南宗谷子ども通園センター負担金を支出しました。

〈ひとり親家庭等医療給付費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

ひとり親家庭等医療給付事業

決算額 34千円(93千円)

ひとり親家庭等の健康の保持を図るため、医療費の一部を助成します。

〈認定こども園費〉

(担当：認定こども園)

認定こども園事業

決算額 21,842千円(22,663千円)

小学校就学前の子どもを対象とし、一人ひとりの子どもの状況や発達過程を踏まえ、地域の実情に応じた創意工夫のある、教育及び保育を一体的に提供してきました。

〈地域子育て支援費〉

(担当：認定こども園)

地域子育て支援事業

決算額 558千円(632千円)

すべての子育て家庭、妊産婦を対象に、親子の集いの場の提供や、子育てに関する情報提供、及び相談事業を行いました。

講演会(年1回)

講座(年9回)

遊びの広場(月8回～11回)

自由開放日(月20回程度)

子育てサロン(月1回)

子育て相談事業(随時)

〈放課後児童健全育成費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

放課後児童健全育成事業

決算額 4,709千円(4,870千円)

就労等により、昼間保護者が家庭にいない小学生を対象として、家庭的機能の補完をしながら、学習及び運動等の場を提供することによって、一人ひとりが安心して楽しく過ごしながら、健やかで心豊かな子どもに成長するように、子どもの健全育成を目指しました。

〈こども包括支援費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

子ども・子育て支援事業

決算額 616千円(1,661千円)

地域の子育て支援の充実のための事業で、出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生した子どもで、指定医療機関へ入院し、養育を行う必要のある子どもに対して、医療の一部助成を行ないました。

ファミリーサポートセンター事業

決算額 969千円(1,826千円)

育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者からなる事業であり、会員相互の活動に関する連絡調整や、地域における育児の相互援助に対する支援、及び会員の研修等のための講演会を実施しました。

妊産婦安心出産支援事業

決算額 191千円(325千円)

安心して子育てができる環境を整備し、妊産婦の健康診査や出産に係る交通費等の助成を行ないました。

子育て世代包括支援センター事業

決算額 4,616千円(4,683千円)

助産師による、地域の特性に応じた妊産期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行いました。また、サービスの提供をスムーズに行えるようシステムの整備を進めました。

子どもの居場所づくり事業

決算額 390千円(435千円)

全ての児童及び保護者が、その心身の健やかな成長及び発達、その自立が図られることを目的として、地域に開かれた居場所づくりを行うことを推進しました。平成30年度の利用者延人数は120人です。

衛生費

〈予防費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

感染症予防事業

決算額 21千円(23千円)

感染症法に基づく結核検診や北海道エキノコックス症対策実施要領に基づくエキノコックス検診を行い、早期発見・早期治療のための諸対策を講じました。結核検診は65歳以上の方を対象に実施し1名が受診しました。エキノコックス検診は小学生3年生以上の方を対象に実施し、小学校3年生及び中学2年生に個別案内を行い15名が受診しました。

保健予防事業

決算額 9,692千円(10,142千円)

保健予防全体に係わる事業(会議・研修・車両維持・システムの更新等)を円滑に推進しました。

予防接種事業

決算額 6,599千円(10,087千円)

予防接種法に基づき定期の予防接種(BCG、不活化ポリオ、二種混合、四種混合、麻しん風しん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、65歳以上の方のインフルエンザ、65歳以上の肺炎球菌(定期対象者)、日本脳炎、B型肝炎を医療機関に委託し、実施しました。ヒトパピローマウイルス感染症は国からの勧告により積極的勧奨を控えています。また、任意の予防接種(65歳未満の方のインフルエンザ、65歳以上の方の肺炎球菌(定期対象以外))を受ける方に費用の一部を助成しました。

〈母子衛生費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

母子健康相談健康教育事業

決算額 47千円(89千円)

妊婦・乳幼児の健康相談、栄養相談、健康教育事業を実施し、安心して子どもを生み育てることができるように支援しました。

母子健診事業

決算額 1,538千円(1,900千円)

母性と乳幼児の健康の保持増進を図る事を目的に、妊産婦の健康診査及び交通費等に対する助成、乳児健診、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診を行いました。さらに精密検査が必要な方には費用の一部を助成しました。

母子歯科保健事業

決算額 116千円(119千円)

乳幼児等の虫歯予防のための歯科医師による健診と歯科衛生士によるフッ素塗布と歯科指導、保健師・栄養士による相談等を年に3回実施し、延174名の利用がありました。

不妊治療費助成事業 **決算額 43千円(1,217千円)**

不妊治療により妊娠を希望されるご夫婦の経済的負担を軽減することを目的に治療に係る医療費及び交通費の一部助成しました。

〈環境衛生費〉

(担当：総務課住民グループ)

一般廃棄物処理事業 **決算額 94,830千円(96,113千円)**

一般廃棄物処理については、可燃ごみ及び生ごみは、南宗谷衛生施設組合において処理し、リサイクル及び不燃ごみの処理は、町において分別収集をしました。また、中頓別町リユースとして、不用となった物を登録し提供したい方と譲り受けたい方を結び付け資源を活用する活動を始めました。平成30年度は登録13件、成立1件でした。

- ・南宗谷衛生施設組合負担金 55,860千円
- ・ごみ処理事業(収集・埋立処分場管理等)委託料 31,449千円
- ・その他ごみ袋購入、販売委託料等 1,595千円
- ・一般廃棄物最終処分場
 - 浸出水処理施設ボイラー更新事業 3,186千円
 - トラックスケールデータ処理装置システム更新事業 2,740千円

環境衛生事業 **決算額 175千円(218千円)**

住みやすい環境の確保のため、狂犬病予防・有害駆除(スズメバチ等)・エキノコックス症媒介動物(キツネ)対策及び環境美化に要した経費です。平成30年度は63頭の畜犬に対し狂犬病予防注射を実施しました。(狂犬予防の四半期報より)

合併処理浄化槽設置整備事業 **決算額 0千円(0千円)**

合併処理浄化槽を整備しようとする方に対し、合併処理浄化槽設置整備事業補助要綱に基づき助成します。

平成30年度は実績が0件でした。

公衆浴場確保対策事業 **決算額 700千円(700千円)**

地域住民の保健衛生上必要な浴場を確保するため、「公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律」及び「中頓別町公衆浴場確保対策補助交付要綱」に基づき対象施設営業者に補助しました。

花とみどりのまちづくり推進事業 **決算額 305千円(356千円)**

住民参加を基本に美しく快適で潤いのある生活環境をつくるため、公共施設に花壇の設置を行ったほか、有志団体の協力により、旧開発跡地広場に花壇の整備を行いました。

- ・花壇設置 4施設 9樽 プランター 7施設(重複) 24台
- ・旧開発跡地広場花壇 7面
- ・花苗・消耗品費等 205千円
- ・委託料 100千円

環境保全活動推進事業 **決算額 34千円(37千円)**

環境の保全と創造を町民が自立的に進めていくため、クリーンアップ作戦を開催しました。

中頓別自然ふれあい活動推進事業 **決算額 11千円(15千円)**

頓別川を代表とする豊かな自然の姿を見つめ直すため、環境保全(教育)活動の一環として様々な調べ活動を実施しています。平成30年度は秋に河川の水質調査を行いました。

- ・水質調査消耗品等 11千円

〈墓地火葬場費〉

(担当：総務課住民グループ)

墓地火葬場維持管理事業 **決算額 2,068千円(2,179千円)**

町内に設置されている5ヶ所の墓地と火葬場1ヶ所の維持管理に要した経費です。

- ・施設修繕料 715千円
- ・墓地維持管理委託料等 244千円
- ・火葬炉保守点検委託料 54千円
- ・火葬場維持管理委託料等 720千円
- ・その他施設運営費等 335千円

〈病院費〉

(担当：総務課政策経営室・保健福祉課保健福祉グループ)

国民健康保険病院事業運営補助事業

決算額 313,932千円(325,732千円)

中頓別町国民健康保険病院の運営に対する補助金を支出しました。

第2次救急医療事業 **決算額 1,149千円(1,157千円)**

中心都市宣言(定住自立圏構想推進要綱第4に規定)を行った「名寄市及び士別市」との相互に役割を分担し連携しながら取り組む、上川北部地域広域第2次救急医療事業に係る経費です。

〈診療所費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

歯科診療所委託事業 **決算額 10,455千円(13,032千円)**

歯科診療所の施設整備を行い、充実した地域の歯科保健、歯科診療ができるように支援しました。

〈地域保健対策費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

地区組織活動事業 **決算額 333千円(435千円)**

各地区から選ばれた保健推進員とともに健康づくりに取り組みました。

1年間の保健事業をのせた健康カレンダーを全戸配布しました。

〈健康増進費〉

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

がん検診事業

決算額 1,943千円(2,991千円)

各がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、子宮がん、乳がん)を実施し、がん患者を早期に発見し、早期治療に結びつくように援助しました。

大腸がん検診については特定の年齢の方に検診の個別勧奨を行うとともに、検診を無料で受けられるクーポン券を発行しました。働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業に取り組み、過去に乳がん検診、子宮頸がん検診で無料クーポン券を発行し未受診だった方に受診勧奨を行い、がんの早期発見と健康意識の普及啓発を図りました。

各種がん検診の受診者数は、胃がん検診152名、肺がん検診165名、大腸がん検診166名、子宮頸がん検診65名、乳がん検診77名でした。

健康教育事業

決算額 475千円(704千円)

各地区等での健康相談や健康教室などを通して、より健康的な生活が継続できるように支援を行いました。健康づくりセミナーを5回開催しました。健康増進法に基づく40～64歳の健康教育は48回237名の参加がありました。健康相談は42回154名の参加がありました。その他、保健師、栄養士は随時家庭訪問を行いました。

健康診査事業

決算額 942千円(1,195千円)

健康増進法に基づく健康増進事業(骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診)の他、同法施行規則に定める健康診査及び保健指導(医療保険者が行う特定健診等の対象以外の方)を実施しました。個別の健診結果をもとに生活習慣病予防や改善に向けた支援を行いました。

歯科保健事業

決算額 426千円(509千円)

80歳で20本の歯を保つことでさらに豊かな生活ができるよう、生涯を通した歯の健康づくりを推進します。特定健診等とあわせて8020さわやか健診を行いました。幼児・児童・生徒にブラッシング指導を行い、虫歯予防ができるように支援しました。

健康増進事務事業

決算額 3,070千円(3,152千円)

健康増進法に基づく事業(会議・研修・車両維持等)を円滑に推進しました。

労働費

〈労働諸費〉

(担当：産業課産業グループ)

稚内雇用対策協議会関係事業

決算額 26千円(29千円)

雇用対策にかかる諸会議への参加や通年雇用化に向けた助成事業等を推進している稚内地方通年雇用促進協議会に加入し、各種支援施策の周知を行い、雇用対策の円滑な推進を図りました。

・稚内地方通年雇用促進協議会負担金

26千円

農林水産業費

〈農業委員会費〉

(担当：農業委員会事務局)

農業委員会活動促進事業 決算額 1,235千円(1,253千円)

農業委員会等に関する法律に規定する事項に係る法令事務及び中頓別町農業委員会に対する事務委任に関する規則に基づく事務（農地の所有権移転・賃貸借や転用等）の執行を行いました。また、広報活動やホームページを通じて農業委員会の情報提供を行うとともに、農業者の意見を聞きながら事務を進めました。

■委員に関する経費

- 委員の報酬 981千円
- 総会や研修会等の費用弁償 89千円

■職員に関する経費

- 事務局職員の研修会等普通旅費 41千円

■事務的経費

- 書籍購入費、車両燃料代 24千円
- 北海道農業会議への負担金 100千円

【参考】

- ・総会開催回数 9回
- ・農地等流動化実績 所有権移転11件(145筆)、
賃貸借30件(323筆) 合計452.54ha

機構集積支援事業 決算額 487千円(490千円)

農地パトロール時における農地の利用状況調査や耕作放棄地全体調査を通じて遊休農地や耕作放棄地の防止・解消を図るとともに、新農地法に関する農業委員研修に参加しました。

- 委員に関する経費：研修会参加への費用弁償 199千円

■職員に関する経費

- 事務局職員の研修会等普通旅費 218千円

- 事務的経費：調査図面制作消耗品等 70千円

農業担い手対策事業 決算額 69千円(69千円)

農業経営の継続を促進するため、独身の農業後継者や経営者に対してパートナーとの出会いの場の情報提供をするとともに、交流会への参加をしました。また、新規就農者確保のための活動をしました。

- 委員に関する経費：新農業人フェア参加費用弁償 39千円

- 職員に関する経費：交流会参加引率 0千円

- パートナー対策団体への助成 30千円

〈農業振興費〉

(担当：産業課産業グループ)

中頓別町農業体験交流施設（食彩工房「もうもう」、体験農園「オガル」） 管理運営事業 決算額 7,453千円（7,481千円）

中頓別町農業体験交流施設の施設管理運営費です。

○中頓別町農業体験交流施設窓枠取替工事 1,674千円

認定農業者支援事業 決算額 65千円（71千円）

本町農業の中核的な担い手として、経営規模の拡大や集約化、複合化などによって、魅力ある経営実践を目指す意欲ある農業者を「認定農業者」として町長が認定し、各種の支援を行いました。

○農業経営基盤強化資金利子助成事業

法律に基づいて、積極的な経営を展開する認定農業者が借り入れた「農業経営基盤強化資金（通称：L資金）」に対する利子の助成を行いました。

農業振興事業 決算額 3,786千円（3,897千円）

農業行政の推進のため、農用地区域の管理、農業振興地域整備計画の策定・管理、農業担い手対策の推進、農業関係制度資金などに係る事業を実施しました。

中山間地域等直接支払交付金交付事業 決算額 31,682千円（31,688千円）

農業者が現在耕作している農地の面積に応じて、農業者が主体となり組織された中山間地域等直接支払制度推進協議会に対して、国費・道費・町費より交付金を交付しました。

中頓別町農業担い手育成事業 決算額 15,450千円（16,003千円）

本町での新規就農を希望する酪農研修生への支援や、新規就農希望者の募集・経営継承希望農場の実態調査、30年度より経営を開始した新規就農者に対する経営安定補助金等の支援等を行いました。

農業次世代人材投資事業 決算額 3,298千円（3,298千円）

新規就農者は、就農後の経営の安定化に期間を要することから、経営が軌道に乗るまでの間、一定条件を満たす新規就農者に対し国が支援を行う制度で、平成29年度より青年就農給付金事業から事業名が代わり実施されています。

多面的機能支払事業 決算額 3,818千円（3,820千円）

農業者が現在耕作している草地・畑の面積に応じて、農業者が主体となり組織された推進協議会に対して、国費・道費・町費により交付金が交付され、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため地域の共同活動に支援を行い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理を図りました。

6次産業化推進事業 決算額 703千円（896千円）

平成28年度から製造を開始している『なかとん牛乳』の提供農場に対する協力金や平成29年度より試験栽培を開始した醸造用ぶどうの苗木や栽培資材等の購入、専門家による指導助言に係る旅費、栽培管理に係る業務委託等を行い、本町の新たな特産品の開発に向けた取り組みを行いました。

酪農振興支援事業 **決算額 2,000千円(2,000千円)**

町内の酪農家戸数は年々減少を続けており、地域の生産力も減少している状況にあることから、乳牛の飼養施設等の整備・改修等に対して助成を行い、個々の生産力の向上を図ることを目的とした事業で、平成30年度では、農場譲渡協力金と後継者継承祝い金として助成を行っています。

ミルクプラント運営事業 **決算額 10,732千円(11,257千円)**

平成28年度より製造を開始した『なかとん牛乳』の製造等に係る経費で、作業員の人件費や生乳等の原材料費等の経費を支出しています。なお、『なかとん牛乳』は、町内商店での販売のほか、学校給食への提供やふるさと納税の返礼品として活用しています。

〈畜産業費〉

(担当：産業課産業グループ)

各種制度資金利子補給事業 **決算額 351千円(360千円)**

酪農経営において累増した負債により、経営悪化が余儀なくされている農家に対して積極的に農業経営の改善を図ろうとする者が、必要とする資金の借り入れに対し生ずる利子の一部を負担軽減措置として利子補給を行いました。

循環農業支援センター管理事業 **決算額 5,261千円(5,284千円)**

当該施設を利用組合に無償貸付していますが、施設管理上最低限必要な経費（設備機械の維持管理費用や作業車両の定期点検費など）を負担しました。

地域交流事業 **決算額 200千円(200千円)**

基幹産業である酪農を通し、農業者と地域住民の交流を図り、畜産・酪農に対する相互理解を求め、地域農業の発展を全町民が共同の力で築くための事業であり、これに対し開催経費の一部を負担しました。

畜産振興事業 **決算額 128千円(138千円)**

畜産行政の振興を図るため、畜産関係計画の策定及び管理、家畜衛生対策、家畜糞尿等畜産環境対策に要する業務を執り行いました。

中頓別町営牧場運営事業 **決算額 5,528千円(5,528千円)**

乳用牛の育成部門における飼養労働力の軽減と適期受胎による生産性の向上を図るため適正な運営を行いました。

○町営（弥生・神崎）牧場運営業務委託事業

- ・利用料 1頭1日あたり200円
- ・受託期間 5月下旬から10月中旬

中頓別町乳牛検定組合運営事業 **決算額 450千円(450千円)**

乳牛の資質向上と経営の合理化を推進するため乳牛群の能力検定を実施し、生産性の向上等酪農経営の体質強化を図ることを目的として活動している団体の運営費の一部を補助しました。

中頓別町酪農ヘルパー利用組合運営事業

決算額 2,850千円(2,850千円)

酪農家の家族の休養・研修・旅行等での完全休日の取得の推進と、経営者及び家族の疾病時の緊急対策としてのヘルパー制度の活用等により、経営の安定と生活の向上に資するための事業に対し組合運営費の一部を補助しました。

乳牛共進会関連事業

決算額 105千円(105千円)

町内で飼養されている乳用牛(ホルスタイン)の精鋭を一堂に会し、道北ホルスタイン共進会の予選会を行うとともに、農業者相互の親睦を図り、消費者との交流を深め、本町の基幹産業である酪農業への理解を深めることを目的に開催される、中頓別町乳牛共進会の開催経費の一部を負担しました。

中頓別町乳牛共進会で選抜された乳用牛は、中頓別町の代表として道北ホルスタイン共進会へ出品され、審査の結果上位入賞を果たした場合には、宗谷管内の代表として北海道ホルスタインナショナルショーへ出品されることとなりますが、平成30年度は胆振東部地震の影響で北海道ホルスタインナショナルショーの開催が見送られたため、道北ホルスタイン共進会へ出場するための経費の一部のみを負担しました。

- ・中頓別町乳牛共進会開催負担金 55千円
- ・道北ホルスタイン共進会出場負担金等 50千円
- ・北海道ホルスタインナショナルショー出場負担金等 0千円

畜産担い手育成総合整備事業 決算額 28,053千円(28,225千円)

飼料基盤の整備、集約的な施設の整備を行い、飼料基盤に立脚した規模拡大及び生産コストに努め、持続的な畜産経営の確保育成を図りました。

(事業期間 平成27年度～平成30年度完了)

- ・事業費 28,048千円(道負担分 4,908千円 受益者負担 23,140千円)
事業内容 草地整備改良 79.08ha 草地造成 1.25ha 暗渠排水 2.00ha
- ・北海道公社営畜産事業推進協議会会費 5千円

草地整備型公共牧場整備事業

決算額 48千円(170千円)

飼料基盤の整備による酪農経営の安定化の推進と併せて、公共牧場の機能強化として哺育育成預託施設の整備に向けた事業計画の策定作業を行いました。

畜産・酪農収益力強化整備等対策特別事業

決算額 291,520千円(325,127千円)

※うち、33,607千円は、平成31年度への繰越明許費です。

地域酪農の生産力の向上と収益力の強化を目的に、国からの補助金を活用し、町内では初の搾乳ロボットを導入した法人経営による大規模搾乳農場の整備を行いました。

- ・事業費 639,576千円(国庫補助金 291,520千円 受益者負担額 348,056千円)
- ・事業内容 フリーストール牛舎1棟 スラリーストア1基 搾乳ロボット4台
バルククーラー1台 自動給餌機一式、敷料配布機械一式

〈有害鳥獣対策費〉

(担当：産業課産業グループ)

有害鳥獣対策事業 **決算額 14,791千円(16,460千円)**

傷病等野生鳥獣の保護収容等に係る取扱い指針に基づき、野外で負傷・疾病した野生鳥獣の保護・収容及びへい死体の処理を適切に行います。

野生鳥獣による農林業・生活環境被害の緩和及び防止のため、関連機関と協力して駆除等の対策を行いました。なお、エゾシカについては370頭を駆除し、有害鳥獣等処理施設において減容化処理しました。

・有害鳥獣報償費（親熊3頭、エゾシカ370頭）	5,058千円
・有害鳥獣捕獲業務等委託料	412千円
・有害鳥獣等処理施設管理委託料	6,313千円
・有害鳥獣対策備品購入	53千円
・その他（賃金、研修旅費、消耗品、燃料費等）	2,955千円

〈農業者年金費〉

(担当：農業委員会事務局)

農業者年金委託事務事業 **決算額 432千円(434千円)**

農業者の老後生活の安定を図るため、農業者年金基金からの委託事務として、農業者年金への加入促進、受給者への支給手続き等の業務を実施しました。

■委員に関する経費：農業者年金加入促進等研修会への費用弁償	31千円
■職員に関する経費：事務局職員の研修会等への普通旅費	111千円
■事務的経費：書籍購入、車両燃料費、消耗品代、郵便料、電話料	235千円
■関係団体に関する経費：中頓別町農業者年金協議会への助成	55千円

【参考】平成30年度末現在

- ・受給権者数109人 被保険者数70人 待機者数39人
- ・新規加入者数1人
- ・事務処理件数 裁定請求等8件 現況届72件

〈林業振興費〉

(担当：産業課産業グループ)

森林管理事業 **決算額 2,751千円(2,788千円)**

町有林の森林国営保険料などの町有林の管理経費及び民有林の伐採届、森林火災予防の対策費等に要する経費を支出しました。

森林環境保全直接支援事業 **決算額 5,800千円(5,800千円)**

森林の有する多面的な機能の持続的な発揮を図る事を目的とし、町有林の育成のために各種事業（下刈り、間伐、造林）を実施しました。

○下刈事業 藤井・岩手・神崎

鍾乳洞地区

事業量 53.75ha

○造林事業 神崎地区 事業量 2.00ha
・事業費 5,800千円(補助金3,944千円)

<用語の解説>

下刈 下刈 植栽木周辺の、雑草(笹・草等)の除去を行う。(標準:植栽後9年間)

間伐 適正な密度で森林を管理するため、利用できる大きさに達した立木を間引くための伐採を行う。(標準:林齢30年生以降 間伐実施樹種:トドマツ)

造林 無立木地(原野)の解消を図るため植栽を行う。

森林保護事業 決算額 210千円(211千円)

町有林の保護及び育成を目的として、幼齢林の野ねずみによる被害の未然防止のため植栽後9年間、野ねずみ駆除剤(リンカS1)をヘリコプターにより空中散布をしました。それに先立ち野ねずみの生態調査(6月、8月、10月)を実施しました。

中頓別町民有林森林整備振興事業 決算額 1,520千円(1,546千円)

町内における民有林森林整備事業の推進を円滑に進めるために要する経費の一部を助成し、伐採跡地等の荒廃を防ぎ、森林の健全な育成を行うことにより森林の公益的機能の向上及び林業の振興が図られた。

造林A=39.20ha 下刈A=70.83ha

未来につなぐ森づくり推進事業 決算額 6,387千円(6,410千円)

本町内に所有する民有林について、森林としての機能の活性化を図るとともに、森林資源の充実、森林の有する公益的機能の高度発揮を目的として、造林の標準経費(実行経費)に対して町が100分の26を補助しました。

森林整備担い手対策推進事業 決算額 168千円(168千円)

森林労働者の就労の長期化、安定化を促進し、林業労働力の確保に資するため、森林作業員、事業主、町及び道が一定の掛け金を負担し、就業日数が140日以上ある森林作業員に奨励金を支給するものです。今年度は8名分を負担しました。

合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策事業

決算額 8,284千円(8,284千円)

民有林で間伐期を迎えている山林において、既設の路網を利用し施業の集約化を進めコスト軽減を図り、間伐材を低コストで安定的に製材工場等に供給した。

○間伐事業 栄地区(搬出間伐) 事業量 27.76ha

・事業費 8,284千円(補助金8,284千円)

<林道費>

(担当:産業課産業グループ)

林道管理事業 決算額 352千円(433千円)

中頓別町で管理している林道施設の維持補修及び管理業務を行いました。

道営林道事業

決算額 15,155千円(15,225千円)

森林の生産性の悪化により林業生産活動が停滞しており、計画的な森林整備や作業の機械化の効率化が求められている。森林管理道整備により木材の運搬の効率の向上や作業道と適切な組み合わせにより森林整備の促進と森林経営の安定化を促進しました。

○道営森林管理道松鷹線開設事業

(事業期間 平成24年度～平成33年度予定)

・事業費 15,155千円

(国負担分30,310千円 道負担分15,155千円 町負担分15,155千円)

・事業内容 開設工事 延長=296m、幅4.0m

・施工場所 松音知地区荒木氏旧牛舎付近より約1.7kmの地点から山林方向への区間。

林業専用道天北線開設事業

決算額 29,994千円(30,319千円)

※うち、11,286千円は、平成29年度からの繰越明許費です。

森林所有者の高齢化や町外の所有者が年々多くなり、森林整備の手入が行き渡らず山林の衰退が見受けられているところです。その中で、立地条件の悪い山林について林業専用道の整備により計画的な施業が可能となることから、森林整備の推進や所有者の施業意欲の向上が図られました。あわせて、森林整備事業者等への安定的な雇用確保にも繋がりました。

○林業専用道天北線開設事業

(事業期間 平成28年度～平成34年度予定)

・事業費 18,708千円

(国負担分9,354千円 道負担分187千円 町負担分9,167千円)

・事業内容 開設工事延長170m 幅3.5m 路線測量

・施行場所 小頓別地区の北電変電所施設付近から音威子府方向の山林内の区間。

菊水線他1林道点検診断保全整備事業

決算額 3,218千円(3,219千円)

国では、インフラ施設等の長寿命化を進めるため基本計画が作成され、市町村において行動計画及び個別計画の作成が求められています。そのことから、林道における橋梁の施設補修や更新、機能強化など必要な対策を適切に実施するための計画づくりの調査を行いました。

○菊水線他1林道点検診断保全整備事業

(事業期間 平成30年度)

・事業費 3,218千円(補助金1,641千円)

・事業内容 点検・診断調査 林道菊水線 3橋 長屋の沢線 1橋

林業専用道旭台2号線開設事業

決算額 20,394千円(20,395千円)

民有林で間伐期を迎えている山林において、新たに路網を整備することにより施業の集約化を進めコスト軽減を図り、間伐材を低コストで安定的に製材工場等に供給する。

○林業専用道旭台2号線開設事業

(事業期間 平成30年度)

・事業費 20,394千円(補助金20,394千円)

- ・事業内容 開設工事 延長=700m 幅 3.5m
調査設計 L=700m
- ・施行場所 中頓別浄水場付近から町道を挟んで南東側の山林内方向

商工費

〈商工総務費〉

(担当：産業課産業グループ)

商工業振興対策推進事業 決算額 18,896千円(23,530千円)

商工業の振興と地域経済基盤の安定を図るための取り組みに要する経費です。また、前年度に引き続き町民の生活支援と町内経済の活性化を目的として、プレミアム型商品券を発行しました。

平成28年度から、商工業者の事業拡大や設備の整備改修、後継者への事業継承を円滑に進めることを目的に商工業振興支援補助金制度(平成38年3月まで)が施行されました。

- ・プレミアム型商品券発行事業 3,492千円
(プレミアム率20%の商品券6,000円(購入額5,000円)×3,000セット)
- ・諸会議等出席のための旅費 12千円
- ・商工業振興支援補助 5,392千円
- ・中頓別町商工業事業継承支援補助金 10,000千円

中頓別町商工会補助事業 決算額 7,765千円(7,924千円)

商工業の振興と地域経済基盤の安定をはかることを目的に、その指導的役割を担う中頓別町商工会に対して、経営改善普及事業に係る経費の一部を助成しました。また、町と連携して取り組んでいる観光と6次化に関する事業の費用を助成しました。

中頓別町中小企業振興資金融資事業

決算額 20,000千円(20,000千円)

(融資枠 60,000千円)

町内中小企業の育成振興、経営の合理化を促進するため、金融機関に運用資金を預け中小企業者に対し、有利な融資を行っています。また、融資額は一企業に運転資金、設備資金に対し7,000千円以内、木材工業関係は30,000千円以内です。設備資金の特例として金融機関からの貸付利率に4分の3を乗じて得た利率で計算した額を利子補給します。

〈観光費〉

(担当：産業課産業グループ)

ピンネシリ温泉運営事業 決算額 30,692千円(32,000千円)

ピンネシリ温泉(ホテル「望岳荘」)の施設運営費です。

- 中頓別町ピンネシリ温泉の管理代行のための指定管理料 20,853千円
- ・管理施設—温泉(入浴)施設、宿泊施設

- ・業務の範囲—施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務

・指定期間—平成30年4月1日～平成36年3月31日 5年間

○導水管維持管理委託料	1, 814千円
○水質検査手数料	276千円
○土地賃借料、分湯料（国有林関係）	40千円
○機械設備等点検委託料	1, 349千円
○機械設備修繕料	1, 834千円
○設備修繕工事	2, 765千円
○厨房機器等備品購入費	1, 761千円

ピンネシリふれあい公園管理事業 決算額 282千円（292千円）

ピンネシリ温泉に隣接している広場の維持管理や環境美化に関する業務を委託しました。

ライダーハウス開設事業 決算額 4, 065千円（4, 158千円）

中頓別町の観光PRやイベントの参加、町民とのふれあいの場を持つことによる地域の活性化を目指すため、ライダー等の無料宿泊所を開設しました。

○仮設ハウス賃貸料等	255千円
○家屋解体工事	3, 780千円
○運営補助金	30千円

観光イベント振興事業 決算額 872千円（872千円）

町民と観光客に楽しんでもらう各種イベントに助成しました。

・北緯45度夏まつり	185千円
・北緯45度しばれまつり	687千円

観光協会補助事業 決算額 4, 393千円（4, 445千円）

観光宣伝、観光イベント、観光客の誘致等幅広い活動を進めている観光協会の事業に対し助成し、町の観光産業の振興に努めました。

○人件費	4, 061千円
○事業費	332千円

鍾乳洞まつり、ピンネシリ岳山開き、ピンネシリ岳登山道草刈、観光宣伝事業費等

観光振興事業 決算額 2, 198千円（2, 689千円）

道の駅を観光の拠点として、観光客の入りこみ増につなげるため、様々なイベントを実施しました。また、新たに観光協会事務局に地域おこし協力隊員を配置し、情報発信や観光事業の推進を図っています。

・旅費	119千円
・燃料、修繕費等	465千円
・観光組織設立準備補助金	1, 614千円

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園管理運営事業 決算額 6, 485千円（6, 485千円）

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の施設管理運営費です。

- 中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の管理代行のための指定管理料 3, 964千円
 - ・人件費 2, 341千円
 - ・施設管理運営費（管理棟、駐車場、外整備施設等） 1, 623千円
 - ・指定期間－平成30年4月1日～平成32年3月31日 2年間
- 鍾乳洞自然ふれあい公園補修工事 2, 521千円

中頓別町山村交流施設管理運営事業

決算額 17, 115千円（18, 171千円）

中頓別町山村交流施設（ピンネシリビレッジファームパーク）の施設管理運営費です。

- 中頓別町山村交流施設の管理代行のための指定管理料 12, 532千円
 - ・人件費
 - ・管理施設－ピンネシリビレッジファームパーク〔交流プラザ（道の駅「ピンネシリ」）、オートキャンプ場、ふるさと生活体験館、コテージ〕、砂金掘体験場
 - ・業務の範囲－施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
 - ・指定期間－平成28年4月1日～平成30年3月31日 2年間
- 施設及び備品修繕費 1, 441千円
- 商品陳列棚及び洗濯機ほか備品購入費等 3, 142千円

大畑山展望台公園清掃維持管理業務事業 決算額 168千円（168千円）

安全に大畑山展望台を利用してもらうために、施設の点検やトイレ清掃及び環境整備を実施しました。

南宗谷観光推進連絡協議会事業 決算額 10千円（10千円）

南宗谷地域（浜頓別町、猿払村、枝幸町、中頓別町）の観光推進を図るために組織する、協議会に対し負担金を支出しています。協議会では会議開催のほか、札幌地下歩行空間において情報発信を実施。

そうや自然学校事業 決算額 13, 435千円（14, 517千円）

中頓別町の豊かな自然環境を活用した体験活動を町内外の利用者に提供することで、地域間の交流促進を図るとともに、地域の魅力を広めるほか、学習活動や体験観光の展開による地域の活性化を目指しています。

- ・人件費 6, 226千円
- ・研修旅費等 320千円
- ・催事開催事業費 364千円
- ・施設維持管理費 1, 980千円
- ・車両購入費 4, 545千円

地域おこし協力隊事業 決算額 10, 706千円（13, 165千円）

地域おこし協力隊員の募集及びサポート、業務に必要な資格取得及び研修等について、国の要綱に基づき特別交付税を活用して実施します。

- ・内容 募集採用経費、隊員のサポート委託、研修諸費用、資格取得費用
- ・地域おこし協力隊員起業支援補助金

観光振興計画フォローアップ事業

決算額 62,092千円(62,990千円)

○観光振興計画スタートアップ委託事業	12,960千円
○一般社団法人なかとんべつ観光まちづくりビューロー設立及び運営関係費用	
・人件費	5,679千円
・旅費	355千円
・諸費用	320千円
・運営補助金	4,689千円
・出資金	5,000千円
○砂金体験事業視察事業	1,896千円
○地域おこし協力隊員受入委託	3,545千円
○コテージイメージアップ改修	27,648千円

土木費

〈土木総務費〉

(担当：建設課建設グループ)

土木総務事業

決算額 2,493千円(2,495千円)

各種会議への旅費及び関係図書の購入を行いました。

・建設課車両購入費	2,477千円
-----------	---------

〈道路維持費〉

(担当：建設課建設グループ)

除排雪事業

決算額 38,679千円(43,741千円)

冬期間の快適な生活環境づくりのために、町道や公設駐車場などの除雪・排雪業務を行いました。

・除雪トラック購入費(10t専用型1台払下げ)	922千円
・無線機購入費(デジタル 22台)	2,906千円

上駒駐車場トイレ維持管理事業

決算額 351千円(382千円)

上駒駐車場のトイレ清掃を委託し、いつも清潔な状態を保ちました。

道路維持補修事業

決算額 7,881千円(7,997千円)

・原材料費 未舗装道路の補修に使用する砕石を購入しました。	284千円
・町道の草刈りや未舗装道路の砂利敷き、路面整正及び側溝整備等を行いました。	3,356千円
・舗装道路補修費	1,307千円
・町道区画線設置工事	432千円

道路照明灯電気料事業 **決算額 831千円(837千円)**

歩行者及び車両通行の夜間の安全性確保のために設置している、道路照明灯143基分(町道20路線)の電気料を計上しています。

道路台帳整備事業 **決算額 394千円(400千円)**

道路台帳は、町道を管理するために必要な道路の現況や用地を確認するため、また、道路の維持管理に要する費用として交付税措置がなされるため、図面及び調書を整備するために必要な台帳整備です。

- ・毎年、道路工事などで変更が生じた分を修正します。

〈橋梁維持費〉

(担当：建設課建設グループ)

橋梁補修費 **決算額 8,197千円(8,198千円)**

橋の維持、補修を行いました。

- ・神崎4号橋架設設計業務 486千円
- ・神崎4号橋架設工事 7,711千円

〈道路新設改良費〉

(担当：建設課建設グループ)

普通建設事業(単独) **決算額 5,026千円(5,027千円)**

道路建設事業を行うための人件費及び積算等に係る経費を支出しました。

金庫の沢線交付金事業 **決算額 28,662千円(28,663千円)**

中頓別弥生線交差点から鍾乳洞へ向かう83mの改良工事が完了しました。

中頓別駅向線交付金工事 **決算額 33,869千円(33,870千円)**

中頓別弥生線(あさひ橋)交差点から宮下地区へ向かう230mの改良工事が完了しました。

橋梁修繕事業 **決算額 14,893千円(14,985千円)**

藤井地区へ通じる藤頓橋と秋田地区墓地へ通じる五号橋の補修工事を実施しました。

橋梁長寿命化更新事業 **決算額 9,990千円(9,990千円)**

今後補修工事を行う予定の豊平地区にある松栄橋の設計調査を実施しました。

長寿命化修繕計画 **決算額 10,562千円(10,563千円)**

中頓別町内73橋のうち23橋の橋梁点検業務を行いました。

秋田原野線交付金事業 **決算額 28,791千円(28,791千円)**

かえで団地付近から秋田地区に向かう207mの改良工事が完了しました。

〈河川総務費〉

(担当：建設課建設グループ)

河川維持事業 **決算額 36千円(36千円)**

普通河川の支障木伐採や河床に堆積した砂利撤去等の維持管理経費を支出しました。

樋門樋管管理委託事業

決算額 737千円(740千円)

河川の洪水・氾濫等によって災害が発生しないように、宗谷総合振興局稚内建設管理部が管理している2級河川の頓別川、兵知安川にある30ヶ所の樋門・樋管の操作や管理を委託しました。

〈旭台公園費〉

(担当：建設課建設グループ)

旭台公園維持管理事業

決算額 205千円(213千円)

旭台公園の管理を委託し環境美化の向上を図りました。

- ・公園管理委託料 186千円
- ・光熱水費 19千円

〈住宅管理費〉

(担当：建設課建設グループ)

公営住宅維持管理事業

決算額 16,878千円(17,234千円)

※うち、1,601千円は、平成29年度からの繰越明許費です。

住宅の修繕・維持管理にかかる費用です。

平成31年3月31日現在の管理戸数 244戸

公営住宅 200戸、特公賃 20戸、独身者住宅 19戸、定住促進住宅 5戸

- ・あかね団地公営住宅解体工事(昭和43年度) 1棟4戸 4,288千円
- ・西団地公営住宅外壁改修工事(平成6年度) 1棟4戸 7,344千円
- ・あかね拡充団地一部外壁改修費 426千円
- ・あかね拡充団地共同裏玄関ガラス等取替費 192千円

〈住宅建設費〉

(担当：建設課建設グループ)

住宅建設促進事業

決算額 35,459千円(37,319千円)

町民の持ち家住宅を促進するため、中頓別町住宅建設促進条例に基づき、町内に住宅を新築又は増改築する方に対し経費の一部を助成する。また、町内に賃貸住宅を建設する方に対し費用の一部を助成することにより、良質な賃貸住宅の供給の促進と町民の定住促進を図る。今年度の住宅建設促進助成は0件です。

- ・営繕工事積算標準単価利用料 119千円
- ・賃貸住宅建設促進助成金(2件2棟12戸) 35,340千円

危険廃屋解体撤去助成事業

決算額 3,160千円(3,160千円)

町内に存する老朽化し危険な状態にある廃屋化した建築物等の解体撤去をする方に対し、経費の一部を助成し、景観や住環境向上、町民の安心安全を図っていきます。

- ・危険廃屋解体撤去補助金 7件

消防費

〈消防費〉

(担当：南宗谷消防組合中頓別支署)

救急救命士病院実習事業 **決算額 282千円 (284千円)**

救急隊員の行う応急処置の質を保障することを目的とし、救急医療の知識・技術を維持、レベルアップし、より質の高い病院前救護を町民へ提供するための病院実習費用です。

- ・生涯学習病院実習 (旭川赤十字病院・名寄市立病院) 101千円
- ・ビデオ硬性喉頭鏡気管挿管病院実習 (旭川医大) 181千円

救急業務 **決算額 559千円 (861千円)**

救急出動に要した費用です。

- ・救急業務手当・救急町外搬送旅費・消耗品 361千円
- ・携帯電話使用料・救急救命士賠償責任保険料 47千円
- ・B型肝炎検査委託料・インフルエンザ予防接種委託料 151千円

救急資機材維持管理費 **決算額 986千円 (1,061千円)**

救急出動に備え、救急車両・資機材の維持管理のために要した費用です。

- ・高規格救急車・2B型救急車の消耗品・車検・修理費用・保険料 594千円
- ・酸素ボンベ耐圧検査料・酸素充填手数料 97千円
- ・除細動器・人工呼吸器・ストレッチャー保守点検料 295千円

救急業務検証事務 **決算額 59千円 (67千円)**

救急隊員の行う応急処置の質を保障することを目的とし、職員間での救急出動に関する評価を行い全体の意思統一を図ると共に、特異症例に関する事例については道北救急高度化推進検証医師に意見と評価を求め救急活動全体の検証に要した費用です。

火災予防啓蒙普及業務 **決算額 46千円 (98千円)**

火の用心ポスター配布、啓蒙旗設置、啓蒙看板作成、火災予防運動広報、年末警戒、町内回覧防火啓蒙等の火災予防思想の普及啓発活動に要した費用です。

火災原因調査事務 **決算額 44千円 (35千円)**

火災原因の究明、火災、消火により生じる損害程度を明らかにし、効果的な予防警戒態勢を確立するために必要な研修費を支出しました。

消防査察事務 **決算額 73千円 (64千円)**

火災予防のため必要に応じ消防対象物の実態を把握し、万一の火災発生に際して、被害を最小限にとどめられるように指導する業務で、違反是正のための研修費を支出しました。

消防学校等派遣事業 **決算額 782千円 (789千円)**

消防職員として必要な専門知識及び技術の習得、体力、気力の練成、規律の保持、共同精神を養い、公共福祉の増進に繋がる人材の育成のため下記の教育に派遣しました。

- ・北海道消防学校初任教育 449千円
- ・北海道消防学校救急科 200千円
- ・北海道消防学校ポンプ操法指導員課程 78千円

- ・ビデオ硬性喉頭鏡気管挿管講習 55千円

庁舎・備品維持管理業務 決算額 4,148千円(4,321千円)

庁舎、各備品の修繕・維持管理に要した費用です。

- ・光熱水費、燃料費、消耗品、修繕費 2,583千円
- ・自家用電気工作物、庁舎設備機器、自動ドア 275千円
- ・消防庁舎、第3分団詰所火災保険料 86千円
- ・敏音知会館合併浄化槽各種検査料・合併浄化槽保守管理委託料 110千円
- ・敏音知消防施設管理委託料・小頓別消防詰所管理委託料 100千円
- ・消防庁舎シャッター保守点検 81千円
- ・備品購入費 職員用パソコン、洗濯機、ストーブ 913千円

火災・救助・災害警戒防御業務 決算額 448千円(749千円)

火災出動、救助出場、災害警戒にかかる職員手当・消防団出動手当を支出しています。

消防水利整備維持管理業務 決算額 2,823千円(2,799千円)

町内の消火栓、防火水槽の新設、維持管理に必要な修繕費の支出をしています。

消防車両・資機材整備維持管理業務

決算額 3,598千円(4,125千円)

各種出動に備え、常に最善の能力を発揮するための維持管理費用に充てたものです。

- ・需用費 消耗品、燃料費、修繕費(車検整備・普通修繕) 2,152千円
- ・役務費 空気ボンベ耐圧検査、自動車保険料、車検代行料 426千円
- ・備品購入費 消火用ホース、吸水管、ラインプロポーションナー、
エアージャッキ、トルク制御レンチ 703千円
- ・公課費 重量税 317千円

通信施設維持管理業務 決算額 800千円(813千円)

デジタル無線設備、119番受信設備、サイレン吹鳴装置等の通信施設の維持管理費用及び無線デジタル化整備計画に関する費用を支出しています。

- ・アプローチ回線通信料、電話料、メールサイレン通信料 800千円

消防分団事務 決算額 3,094千円(3,118千円)

消防団活動を円滑に進めていくために、報酬、旅費、災害補償関係、統計調査等に関する事務を処理するために充てたものです。

- ・報酬、共済費、市町村総合事務組合負担金等 3,002千円
- ・会議旅費 92千円

消防団訓練指導等事業 決算額 1,677千円(1,798千円)

消防団が主催となる式典、演習、訓練、指導等に関する費用弁償を支出しています。

救急訓練／警防・救助訓練業務 決算額 16千円(26千円)

有効な火災・救助等の災害及び救急活動を行うために必要な訓練研修に係る経費を支出しました。

その他の係内庶務事務/予防事務/警防事務

決算額 102,222千円(103,295千円)

職員の人件費を含めた予算、経理、栄典事務等の消防全般に渡る事務処理を行いました。

- ・人件費 給料、職員手当、共済費、退職手当組合負担金 100,416千円
- ・旅費 需用費 消耗品費、職員制服費、燃料費、印刷製本費 1,427千円
- ・役務費 通信運搬費(郵便)、防火防災訓練災害保険料等 60千円
- ・使用料及び賃借料(複写機使用料等) 負担金補助及び交付金 319千円

消防本部費

決算額 7,841千円(8,041千円)

南宗谷消防組合の議会費、総務費、消防本部費等の負担金を支出しました。

防火対象物訓練指導事業

決算額 0千円(7千円)

防火対象物で実施する消防訓練に係る経費です。平成30年度は支出がありませんでした。

消防関係車両購入事業

決算額 28,065千円(28,067千円)

増加している救急出動に備えるため、また、妊産婦救急に対応するために、老朽化していた予備救急車(2B救急車)を更新し、高規格救急車を購入しました。

教育費

〈教育委員会費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

教育委員会事業

決算額 706千円(787千円)

教育委員会開催状況・・・12回

学校訪問・・・学校行事及び授業参観、公開授業参観等の訪問を行いました。

教育委員研修・・・北海道市町村教育委員会研修会、宗谷管内教育委員研修会に出席しました。

〈事務局費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

外国青年招致事業(英語指導助手) 決算額 8,193千円(8,383千円)

こども園、小中学校、英会話教室など、語学教育の充実を図るとともに、地域国際交流の推進に努めました。

学校体育連盟運営事業

決算額 273千円(273千円)

中学校生徒の身体並びにスポーツ技術の向上、管内中学生との交流と親睦を図るために支援しました。

教育委員会事務局事業

決算額 81,684千円(85,417千円)

教育委員会の補助機関として教育委員会事務局が設置され、教育委員会の職務権限に属する事務を具体的に処理するため、事務局職員の給料や事務に要する経費に充てました。児童

生徒の英語教育の充実と基礎学力向上のため、中学生の夏期英語研修（ハワイ英語研修）や漢字検定と英語検定の検定料の補助金を支出しました。

教育研究指定校委託事業 **決算額 100千円（100千円）**

特色ある学校経営の活動について研究し、その結果を集約し研究紀要として各学校へ配布し、教育効果を高めることを目的として各学校に委託しました。

教職員健康診断事業（人間ドック） **決算額 48千円（60千円）**

教職員の健康の保持増進及び病気の早期発見等に努めました。

公用車両維持管理事業 **決算額 2,289千円（2,324千円）**

通学用スクールバスの運行、郊外学習、各種スポーツ大会参加時の運行に充てられました。

中頓別町教育研究会運営事業 **決算額 262千円（262千円）**

中頓別町学校教育の重点及び町内各学校の学校教育目標・経営方針に則り、教育課程の改善、充実を図るため支援しました。

特別支援教育連携協議会運営事業 **決算額 140千円（140千円）**

発達障害を含めた障害のある子どものよりよい生活を築くため、総合的な支援体制の在り方や障がいに対する理解を町民や関係者で共有していくために支援しました。

〈住宅管理費〉

（担当：教育委員会教育グループ）

教職員住宅管理事業 **決算額 1,995千円（2,530千円）**

教職員住宅の維持管理に係る経費に充てました。また、教職員住宅1戸のユニットバスを改修しました。

〈学校管理費〉

（担当：教育委員会教育グループ）

小学校施設維持管理事業 **決算額 15,045千円（15,433千円）**

児童が快適・安全に学校生活を送れるよう小学校施設を維持管理するための経費に充てました。

・ハードディスク	138千円
・プログラムタイマー・子時計増幅器	445千円
・非常放送設備用バッテリー	63千円
・シュレッダー	47千円
・裁断機	14千円
・テプラ	21千円
・タブレット	175千円
・芝刈り機	47千円
・電動パンチ	18千円

中学校施設維持管理事業 **決算額 13,815千円(13,852千円)**

生徒が快適・安全に学校生活を送れるよう中学校施設を維持管理するための経費に充てました。

・教室用ストーブ 4台	397千円
・学校保健総合管理ソフト	45千円
・身長計	32千円
・芝刈り機	94千円
・移動式黒板	40千円
・スクリーン	90千円
・給湯器	92千円

〈教育振興費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

小学校教育振興事業 **決算額 1,710千円(1,817千円)**

児童に対する教育活動において必要となる教育資材等を整備し、教育指導の充実を図るために必要な経費に充てました。

・図書購入費	221千円
・位取りタイルマグネットシート	31千円

中学校教育振興事業 **決算額 1,217千円(2,057千円)**

生徒に対する教育活動において必要となる教育資材等を整備し、教育指導の充実を図るための経費に充てました。

・図書購入費	70千円
・ベルトディスクサンダー 2台	79千円
・CDラジカセ	12千円
・作戦版	37千円
・卓上木工バンドソー 2台	65千円

就学奨励事業 **決算額 1,184千円(1,396千円)**

経済的な理由によって就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して必要な援助を行いました。

〈社会教育総務費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

社会教育推進事業 **決算額 172千円(306千円)**

本町の社会教育事業のあり方について協議検討を行い社会教育事業や生涯学習・まちづくり活動に積極的に参加できる体制を支援しました。

少年教育推進事業 決算額 4,053千円(4,154千円)

地域の資源や文化を活かすこどもの体験活動や学習機会を提供し、青少年の健全育成を図りました。

- ・各スポーツ少年団指導者への支援 175千円
- ・スポーツ少年団本部運営補助 125千円
- ・中頓別町PTA連合会運営事業補助 80千円
- ・生徒指導連絡協議会運営補助 150千円
- ・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業 3,334千円
- 北緯45度ふれあい広場運営補助 170千円

青年教育推進事業 決算額 90千円(90千円)

地域で青年女性自体の繋がりが薄れている状況もあるため、学習の場や交流の場を提供し、青年女性教育の推進を図りました。

高齢者教室推進事業 決算額 47千円(119千円)

高齢者いきいき教室を開講し、学習と思考を重ねながら、世代間交流や共同学習による交流を深めるとともに、生きがいに満ちた生活を送るため、趣味や娯楽などのサークル活動を実施しました。

- ※リフレッシュ研修旅行(留萌方面) 36千円

芸術文化推進事業 決算額 750千円(764千円)

地域の個人・団体サークルや、町内各学校における日頃の文化活動や学習成果の発表を通じ、お互いの交流を図りました。また、日頃触れる事の少ない文化的公演を開催しました。

- ・芸術文化公演会・北海道巡回小劇場「ミュージカルあらしのよるに」公演 324千円
- ・町民文化祭芸術鑑賞会 250千円
- ・町民文化祭実行委員会運営補助金 93千円

文化財保護事業 決算額 11千円(24千円)

本町の区域内に所在する文化財の保全と活用について協議検討しました。

夢と希望を！感動体験事業 決算額 995千円(1,000千円)

次代を担う子ども達の健やかな成長と教育の向上に資することを目的に、未来を担うこどもの健全育成と教育の基金を財源に、20歳までの町民が学校単位や、子ども育成会、分団活動、スポーツ少年団活動等において取り組む各種体験活動に補助金を支出しました。

- ・中学校本物感動体験修学旅行事業 353千円
- ・放課後こどもプラン「子ども未来塾！夏休みチャレンジツアー」 170千円
- ・未来を担う若者たちのきずなを育む感動体験事業 482千円
- ・スキーの魅力満喫体験ツアー 62千円

〈町民センター費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

町民センター運営維持管理事業 決算額 11,184千円(12,957千円)

地域住民のコミュニティ活動、社会教育、生涯学習の場の拠点として利活用を図るため、施設の維持管理に要する経費に充てました。

- ・主な修繕工事等
- 渡廊下解体工事 7,052千円
- タワー型ストーブ購入 1台 666千円

〈社会教育施設費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

郷土資料館及び青少年柔剣道場運営事業

決算額 6,367千円(7,707千円)

郷土資料館、図書室、柔剣道場の光熱水費などの維持管理に要する経費を計上しています。また、子どもからお年寄りまで利用しやすい生涯学習の拠点としての図書室の充実を図るため、計画的に蔵書を整備しました。

読書活動推進事業 決算額 41千円(65千円)

- ・なかとんべつ子ども読書プラン事業
 平成27年6月に策定した中頓別町子ども読書活動推進計画[第2次計画]に基づき、赤ちゃんから絵本に親しみ、また、町図書室と認定こども園や学校図書室との連携を図りながら、子どもを中心とした読書活動の支援をしました。
- ・ブックスタート事業
 赤ちゃんと保護者がゆっくり向き合い、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくり、絵本を開く楽しい体験とつしよに、絵本などが入ったブックスタート・パックを手渡します。町で地域に生まれたすべての赤ちゃんと保護者を対象に、乳幼児検診の時に「いきいきふるさと推進事業」と同時に実施しました。
- ・絵本の読み聞かせ事業
 読書活動の推進を地域全体での取り組みにするために、絵本の読み聞かせボランティアの活動について支援をしました。

〈多目的集会施設費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

多目的集会施設維持管理事業 決算額 787千円(890千円)

小頓別地区の住民活動の場として活用している多目的集会施設の光熱水費など維持管理に要する経費に充てました。

〈創作活動施設費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

創作活動施設運営管理事業

決算額 374千円(491千円)

中頓別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体やサークルのネットワークづくり、創作活動の拠点として活用している創作活動施設の維持管理に要する経費に充てました。

〈保健体育総務費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

社会体育推進事業

決算額 1,626千円(2,152千円)

社会体育推進事業

各種研修会への参加やスポーツ巡回車の維持管理等に要する経費に充てました。

- ・スポーツ巡回バス 夏タイヤ購入 86千円
- ・競技用ゼッケン購入 100枚 184千円

スポーツ推進委員会運営事業

スポーツ団体サークルが自主的・自発的にスポーツ活動を継続的に活動するために、研修や会議などの機会提供を図っています。

町民各種スポーツ大会等運営事業

- ・町長杯争奪町民パークゴルフ大会 29千円
- ・町民ソフトボール大会 37千円
- ・町民駅伝大会 97千円
- ・教育長杯ゲートボール大会 14千円
- ・夏休みラジオ体操会 17千円
- ・町民体力テスト会 14千円

冬季スポーツ教室運営事業

- ・町民スノーフェスティバル 123千円
- ・寿スキー場ジュニアスキー大会 36千円
- ・冬季スポーツ教室運営事業 50千円
- ・ジュニア・キッズスキー教室 39千円

社会体育施設運営事業

決算額 948千円(1,000千円)

学校クラブ活動や町内で活動しているスポーツ団体やサークル、愛好団体の活動の場所として利用されている町民体育館の維持管理に要する経費に充てました。

- ・ミニバレー兼バトミントン用支柱 3組 122千円
- ・卓球フェンス5台 53千円

〈山村プール費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

山村プール運営事業 **決算額 1,522千円(1,532千円)**

学校授業や一般町民の健康体力づくり、児童生徒の健全育成のために開設している山村水泳プールの維持管理に要する経費に充てました。

〈寿野外レクリエーション施設費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

寿野外レクリエーション施設事業 **決算額 282,221千円(284,980千円)**

社会教育施設等(寿スキー場、野外レクリエーション施設、寿公園)の管理は有限会社中頓別振興公社が指定管理者として管理運営を行うための経費です。

・管理運営施設(指定管理分)	20,026千円
・リフト設備リニューアル工事	227,880千円
・ロッジ改修工事	22,961千円
・寿公園管理棟屋根改修工事	6,134千円
・寿公園倉庫屋根修繕工事	2,538千円
・寿公園トイレ屋根改修工事	756千円

〈学校給食費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

学校給食事業 **決算額 19,072千円(19,373千円)**

子ども達に、望ましい食習慣や食に関する自己管理能力を身につけさせるよう食育の推進を図りました。調理した食品を急速に冷却することで細菌の汚染を防ぐことができ、食品の安全性を守り、安心安全な給食を提供するために、急速冷凍機(ブラストチラー)を購入しました。

・学校給食センターパッケージエアコン修繕工事	1,566千円
・ブラストチラー	3,240千円
・学校給食費補助(小学生67名、中学生35名)	3,132千円
・学校給食施設維持管理費	11,134千円

特別会計

自動車学校事業特別会計

(担当：自動車学校)

自動車学校事業 決算額 41,689千円(42,057千円)

自動車免許取得のための教習、高齢者の免許更新時講習、及び取得者教育等の業務を実施し、地域における交通安全教育センターとしての積極的な活動の推進を図っています。

・LX-70 ショベル作動不良修繕	2,736千円
・コース内防護柵修繕工事(コース内障害物取替工事)	1,598千円
・自動車学校コース修繕工事	1,512千円
・コース内照明灯柱設置工事(小屋側)	324千円

国民健康保険事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

国民健康保険事業 決算額 186,433千円(220,738千円)

国民健康保険とは、日本に住む誰もが安心して医療を受けることができる「国民皆保険制度」を維持しており、病気やケガをしたとき、安心して病院にかかることができるように医療費の一部を国と国保加入者のみなさんの保険税で負担し合う制度です。

・総務費	6,738千円
・医療給付事業	106,794千円
疾病時の入院や入院外(外来受診)の医療費を支出します。	
・国民健康保険事業費納付金	54,847千円
・共同事業拠出金	1千円
・保健事業費	2,486千円
特定健診を実施し、早期発見と予防事業に係る経費を支出します。	
・諸支出金	15,567千円

介護保険事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

介護保険事業 決算額 239,352千円(245,036千円)

※うち、1,906千円は、平成29年度からの事故繰越です。

介護保険制度は、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、また、要支援状態とならないよう様々な地域支援事業や、要支援状態、要介護状態となった高齢者への介護保険サービスを推進しています。

・総務費	6,764千円
・保険給付費	213,592千円
介護サービス等諸費	185,387千円
介護予防サービス等諸費	1,090千円

その他諸費	1 3 6 千円
高額介護サービス等費	4, 5 5 6 千円
高額医療合算介護サービス等費	2, 1 0 8 千円
特定入所者介護サービス費	2 0, 3 1 5 千円
・地域支援事業	7, 8 8 6 千円
・諸支出等	4, 3 3 5 千円
・基金積立費	1 千円
・公債費	4, 8 6 8 千円

後期高齢者医療事業特別会計

(担当：保健福祉課保健福祉グループ)

後期高齢者医療事業 決算額 29, 515千円(29, 732千円)

後期高齢者医療事業は、老人保健事業に替わる制度で75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障害のある方が加入する医療保険制度です。

全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が設立され事業の運営にあたります。

市町村の役割は、保険料の徴収、各種申請や届出の受付、被保険者証の引渡しなどの業務を行なうことになり、事業運営のための経費を計上するものです。

・一般管理費	2, 3 6 3 千円
・後期高齢者医療広域連合納付金	2 6, 9 8 8 千円
・諸支出金	1 6 4 千円

水道事業特別会計

(担当：建設課建設グループ)

簡易水道事業 決算額 92, 413千円(94, 473千円)

水道は清浄な水道水を供給する生活環境施設として重要な役割を担っています。

本年度につきましては、水道施設の更新を計画的に実施するために中頓別町水道施設更新計画の策定業務委託及び将来の投資・財源を予測し、水道事業の特性を踏まえた実行性のある計画を立てるため中頓別町簡易水道事業会計経営戦略の策定業務委託を実施しました。その他、水道施設等の維持管理を重点に予算計上し、豊富で清浄な水道水を造り、経営の健全化に努めました。

・水道施設修繕費	4, 4 1 5 千円
中頓別浄水場 取水施設堆積土砂撤去工事	4 7 6 千円
敏音知ポンプ室送水管修繕	8 6 4 千円
旭台増圧ポンプ場圧力タンク修繕	1 1 9 千円
松音知ポンプ室送水ポンプ修繕	1, 2 7 5 千円
施設・配水管修繕費	1, 6 8 1 千円
・量水器取替工事(132台)	1, 9 2 2 千円

- ・中頓別町水道施設更新計画策定業務委託 4, 860千円
- ・中頓別町簡易水道事業会計経営戦略策定業務委託 3, 240千円

下水道事業特別会計

(担当：建設課建設グループ)

下水道事業 決算額 94, 141千円(94, 701千円)

下水道事業は、公共水域の水質保全と快適な生活環境づくりとの重要な役割を担っています。本年度は中頓別町下水道管理センターの設備等を計画的に更新するため更新実施設計の業務委託を実施しました。合わせて下水道施設の維持管理を重点に予算を計上し、よりよい環境づくりとより効率的な施設管理に努めました。

- ・下水道施設修繕費 3, 275千円
- ・下水道管理センター 維持管理業務委託 24, 555千円
- ・中頓別町下水道管理センター設備更新実施設計業務委託 12, 312千円

国民健康保険病院事業会計

(担当：国保病院)

医療機械器具等整備事業 決算額 19, 580千円(19, 857千円)

住民の皆様により良い医療サービスを提供するため、老朽化・故障した医療機器等の更新及び新規導入をいたしました。

- ・特浴エレベール
- ・AED
- ・ガス滅菌器
- ・低床電動ベッド
- ・院内ネットワーク
- ・低床型簡易モジュール車イス
- ・金庫
- ・エアコン
- ・振動病検査機器
- ・高圧蒸気滅菌器
- ・医療用LEDスタンド
- ・繃帯交換車
- ・オーモテックリカレントバイク
- ・木製椅子
- ・除雪機

職員等住宅建設事業 決算額 2, 873千円(2, 874千円)

老朽化した管理人住宅の建替え及び研修医兼長期当直医師用住宅建設のための、測量調査、設計委託、設計支援を行いました。

- ・職員等住宅設計委託